

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名
				職種		
母性看護学実習	2	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師・助産師		専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない				講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%		
評価方法	看護実践・実習に対する意欲、態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価			教科書・参考資料	臨地実習要綱 母性分野関連教科書他	
概要	既習の母性看護に関する諸理論、小児看護に関する諸理論を十分にふまえ、母子を中心にした看護実践を行う。特に、妊娠、分娩、産褥期を経て、母親役割行動の確立、母性の発達、成熟、母子相互作用に見られる養育行動を中心に母子への援助計画を立て実践する。最終的に母性看護の目的、役割機能、母親としての自立のための援助方法をまとめ、母性看護の概念と実際を理解する。					
目標	- 各ライフサイクルで妊娠・出産を経験する対象(妊婦・産婦・褥婦)を理解する - その対象に対する看護実践の方法を習得する - 新生児の観察と援助の方法を習得する - 専門職業人としての態度を養う					
回数						
	津山中央病院 産婦人科病棟・産婦人科外来 - 事前課題-シュミレーション学習による妊婦・産婦・褥婦に関する基本的知識 - 妊婦の特性と看護 - 妊婦健診の見学、情報のアセスメント - 患者体験 - 異常のある妊婦を受け持ち看護過程の展開 - 産婦の特性と看護 - 患者体験・DVD視聴 - 産婦を受け持ち分娩1期から4期の看護を経験する - 褥婦の特性と看護 - 褥婦の基本看護の作成 - 沐浴・退院後の生活に関する指導 - 褥婦を受け持ち看護過程の展開 - 新生児の特性と看護 - 新生児の観察 - 新生児への援助 - 母性看護における看護者の役割 - 母性・父性に対する自己の考えを深める					
留意事項						